



NNA SINGAPORE PTE. LTD.

Address: 10 Anson Road, #14-08 International Plaza, Singapore 079903
Tel: 65-6738-3333 Fax: 65-6227-2995 E-mail: sales@nna.com.sg

シンガポール&ASEAN 版

MCI(P)011//09/2013 Company Reg No.199500734E

TOP NEWS

日本のネット通販輸出を支援 シングポスト、大阪支店も開設

郵政事業シンガポール・ポスト(シングポスト)の日本法人カンタムソリューションズは、日本と海外を結ぶネット通販支援事業を拡大する。10月には大阪支店を開設し日本からのアパレル輸出を支援する。来年には海外に発送していない日本のネット通販でも外国人が購入できるような配送サービスに参入する計画だ。日本郵便と始めたネット通販の海外発送支援は、初年度の目標達成が確実な状況という。



郵便と同様と語る、シングポスト日本代表も務める佐々木社長(NNA撮影)

カンタムソリューションズは、ネット通販に出品する業者が消費者から注文を受けた品を海外に発送する際、保管や在庫管理、梱包(こんぼう)輸出手続き、配送などを一括で手掛ける「フルフィルメント」サービスで日本郵便と提携している。提携は昨年11月に発表し、今年4月に本格的に稼働

した。今月には米系通販大手アマゾンとのシステム連携も開始。アマゾンに出店する企業の海外配送を手掛ける。

カンタムの佐々木佳彦社長は、これまでに中小の出店業者を中心に50社以上にサービスを提供していると明らかにし、当初掲げた目標である初年度の100社獲得は確実と語る。アマゾンに続きインターネット競売大手の米系イーベイとも今秋のシステム連携を予定していると説明した。発送先は圧倒的に米国向けが多いが、伸び率だけを見るとシンガポールも含めた中国語圏の成長率が高いと話す。

大阪支店を10月1日に開設するのは、ネット通販を通じて日本のファッション輸出拡大を支援することが目的の一つ。倉庫も持ち東京との2極体制とする。日本のファッション輸出は、食やアニメーションなどのコンテンツと並び経済産業省が推進する、日本文化産業の海(次ページへ続く)

NEWS HEADLINE

【運輸】日本のネット通販輸出を支援	1	【車両】三菱自、「トライトン」の新モデルを発表	9
【経済】<速報>地場SATS、クルーズセンター買収	2	【IT】携帯でネット、若者・学生が中心	10
【医薬】三井物産と日系団体、肝移植クリニック開業	3	【製造】三菱マテリアル、日本電産にマ社含む子会社売却	10
【金融】池田泉州銀がUOB銀と業務提携、地銀で初	3	【経済】調達・販売先の情報入手支援	11
【鉄鋼】進出 田中貴金属が現法、研究施設も稼働	4	【製造】ヤンマーが鋳造部品工場稼働、アジアに供給	11
【建設】進出 地質調査アサノ、海外初拠点を開設	4	【繊維】ユニクロ、年内に2店舗オープン	12
【経済】総人口539万人、増加率9年ぶり低水準	5	【車両】日産自動車、現地販売体制などを見直し	12
【経済】製造業生産高指数、2カ月連続でプラス成長	5	【農水】農業省、シンガポールにドリアンを初出荷	12
【建設】ニセコの別荘購入、シンガポール富裕層に人気	6	【経済】訪日研修で競争法の知識深化	13
【IT】スターハブ、国内初の携帯補償サービス提供	6	特集	
【観光】昨年のカジノ入場者、国民は前年比15%減	7	【主要経済指標】消費者物価指数、2%上昇	14
【運輸】チャンギ空港、免税品のネット予約開始	7	【アジア目線】ベトナムの工業化の課題(2)	15
【公益】コンコルドと米社、バイオ燃料開発で提携	7	【アジア三面記事】タマネギをめぐる事件	16
【金融】株価続落、ハチソン・ポートは0.51%高	7	マーケット情報、その他	
【労働】新雇用規制、業界や企業から賛否両論	8	商品市況	17
ASEAN情報		クロスレート	17
【商業】日本の飲食16社、タイでパートナー探し	8	マーケット情報 為替と株	18
【建設】日立造船、アユタヤの洪水対策用水門を受注	9	各地のコラム	19
【経済】知財ネットワーク、ジェットロが参加者募集	9		

【シンガポール - 鉄鋼】 《日系進出》

田中貴金属が現法、研究施設も稼働

田中貴金属インターナショナルと田中貴金属工業は 26 日、共同でシンガポールに現地法人を設立し、10 月 1 日から営業を開始すると発表した。新研究センターを設けて東南アジア諸国連合 (A S E A N) 各国の需要に対応することで、市場基盤の強化と販路拡大を目指していく。2015 年までに売上高を 1.5 倍の 7 億 2,000 万米ドル (約 709 億円) に引き上げる。

新会社の名称は田中貴金属シンガポールで、資本金は 200 万米ドル。両社の出資比率は、田中貴金属インターナショナルが 70%、田中貴金属工業が 30% となる。新たに研究施設「TANAKA マテリアル・ラボラトリ・シンガポール」を設置し、半導体用の導電性接着剤 (銀ペースト) の試作品の供給、評価、改良を行う。設備投資額は研究ラボの設置を含めて 85 万米ドル。

田中貴金属インターナショナルは 2004 年にシンガポール支店を開設し、現地での販売活動を展開してきたが、これを現地法人化して研究施設を設置した。従業員数は支店の 23 人に研究要員として日本人 5 人を含む 8 人を増員する。

田中貴金属グループの持ち株会社 TANAKA ホールディングスの担当者は N N A に対し、「近年は車載材料、発

光ダイオード (L E D)、半導体、家電などへの需要が高まっている」と説明。同支店での銀ペーストの取り扱い伸び率は、08~12 年度で 4 倍に拡大している。環境に配慮し負荷を低減させるために鉛を用いない銀ペーストを求める動きもメーカーの間で進んでいることから、メーカーの要望に迅速に答える必要があると決断し、現法設立に踏み切った。

銀ペーストは顧客ごとに条件が大きく異なるため、材料の採用検討時にはサンプルの試作や評価、改良を繰り返す必要がある。これまでは湘南にある研究施設で対応してきたが、東南アジアでの需要に対応するため、地域に特化した研究施設を設置する。「材料の選択から顧客と緊密に打ち合わせることで、スピード感を持って顧客の要求、条件に対応できる製品を提供したい」(同担当者)。

銀ペーストのほか、磁気記録メディア用ターゲットや半導体用ボンディングワイヤ (配線材)、電気接点材料などの貴金属製品の販売も進める。当面はシンガポールとマレーシアの一部で、現地顧客への営業や販売、研究開発を支援する。将来的には A S E A N 全域での販売拡大を進める考えだ。

【シンガポール - 建設】 《日系進出》

地質調査アサノ、海外初拠点を開設

地質調査会社のアサノ大成基礎エンジニアリング (東京都文京区) は、10 月にシンガポール駐在員事務所を開設する。海外初拠点となり、将来的な支店、現法開設の足掛かりとする。

所長には国際推進室の志賀剛室長が就任する。同社はオリエンタルコンサルタンツを中心とした A C K グループの傘下企業で、政府開発援助 (O D A) 関連以外の海外事業を拡大

する意向。東南アジアを中心に海外展開を目指している。

シンガポールでは、2004 年のニコル・ハイウエー建設現場の陥没事故以来、地盤に対する見方が厳しくなっているほか、国土が複雑な地質を持つことなどから、日本の技術に対する需要が高いとみる。シンガポール事業については、まずは日系ゼネコンを中心とした土木工事での受注を拡大する意向だ。

同社は、日本で温泉の開発も手掛けており、温泉熱発電の技術も持つ。東南アジア諸国連合 (A S E A N) での地熱発電需要のうち、小規模の開発にも取り込んでいきたいという。地下水のくみ上げ受託についても開拓を図るほか、域内の経済成長に合わせて水質向上の需要取り込みを目指すという。

声が聞こえる、
暮らしが見える。

The Monthly NNA

アジア消費者ラボ

現地取材とデータでアジア市場の今を伝える